

短報 Short Communication

鳥取県沿岸に漂着した大型海洋動物（2008年～2009年）と ウミガメ類の産卵記録

川上 靖^{1*}・一澤 圭¹

Records of marine animals stranded on the coast of Tottori Prefecture, Honshu, Japan from 2008 to 2009, with notes on a nesting of the sea turtle

Yasushi KAWAKAMI^{1*} and Kei ICHISAWA¹

Abstract: Stranding data for marine animals on the coast of Tottori Prefecture, Japan from 2008 to 2009 are given in this paper. Several specimens of the ribbonfish *Trachipterus trachipterus* were stranded all over coastal area of Tottori Prefecture in short periods of summer 2009. An egg and two egg shells of the sea turtle, which would be identified the loggerhead turtle *Caretta caretta* were observed on Nishizono beach, Hokuei-cho, Tottori Prefecture in September 3rd–16th, 2008.

Keywords: stranding, Tottori Prefecture, the Sea of Japan, *Caretta caretta*

鳥取県立博物館は、鳥取県およびその近隣の海岸に漂着した大型海洋動物を継続的に記録し、可能な限り標本として保存している（川上 2002; 川上ほか 2004, 2006, 2008）。本報告は、2008年から2009年に鳥取県沿岸に漂着した大型動物と日本海における稀な種の記録である。これらの記録は、鳥取県立博物館において調査および確認できたものだけである。

漂着動物の中には、捕獲や調査が困難なため分類や生態が未解明な種類も多い。これらの記録および標本が、これらの種の分類や生態の解明、また海洋環境など様々な調査や分析に役立つことを願っている。

■鳥取県沿岸の漂着動物（2008年～2009年）

表1に、2008年から2009年にかけて鳥取県沿岸および近隣域に漂着した大型の海洋動物と混獲などで確認された日本海における稀な種をまとめた。オットセイ *Callorhinus ursinus*（図1-D：2009年4月2日、鳥取市伏野海岸）は、確かな記録としては鳥取県で2例目である。1例目は、1963年4月11日に鳥取市気高町宝木の浅瀬で捕獲された体長108 cm、体重約14 kgの個体であり（田中 1964）、剥製標本（標本番号933-0201-01）として鳥取県立博物館に保管されている。似

かよったサイズの個体と同じ時期に漂着していることは興味深い。

2008年から2009年には、テンガイハタ *Trachipterus trachipterus*、リュウグウノツカイ *Regalecus glesne* というアカマンボウ目の魚種が比較的多く漂着した（表1, 図1-B, C）。とくに2009年の6月下旬から7月中旬には、2週間程度の短い期間に鳥取県全域（米子市～岩美町）でテンガイハタの漂着がみられた。

2008年3月16日、岩美町東浜海岸に漂着したリュウグウノツカイは、口からオキアミ類を吐き出していた（表1）。2003年2月26日に鳥取市白兎海岸に漂着したリュウグウノツカイ（全長266 cm）からもオキアミ類が確認されており（川上ほか 2004）、本種の生態を知るうえで貴重な記録である。

■鳥取県におけるウミガメ類の産卵

2008年9月3日、鳥取県北栄町西園の砂浜で地元住民の方により直径4 cm 弱の卵が3個発見された（表1, 図2）。卵のサイズ等から、アカウミガメ *Caretta caretta* の卵と同定された。3個のうち1個は破れていた。残り2個は、北栄町教育委員会の職員により、発見地の砂浜の深さ20 cm 程度の場所に埋められた。同

¹ 鳥取県立博物館 〒680-0011 鳥取市東町2-124

Tottori Prefectural Museum, Higashi-machi 2-124, Tottori, 680-0011 Japan

* E-mail: kawakamiy@pref.tottori.jp

[受領 Received 30 November 2009 / 受理 Accepted 27 December 2009]

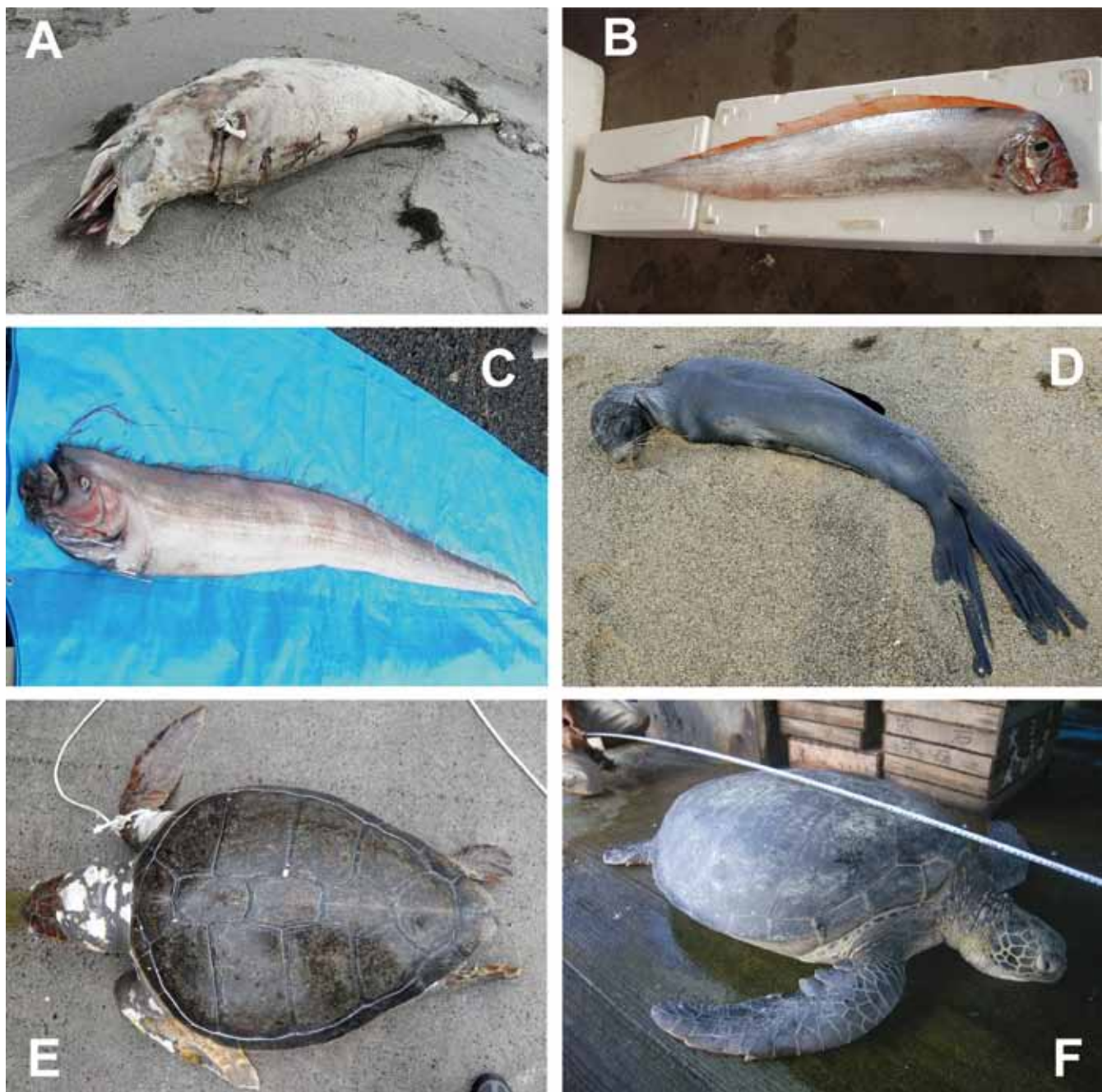


図1. 鳥取県および近隣域の漂着動物. A: マイルカ類(西伯郡日吉津村大字今吉, 2009年4月25日), B: テンガイハタ(東伯郡琴浦町逢東海岸, 2009年2月4日), C: リュウグウノツカイ(島根県美保関町宮谷 境水道, 2009年11月20日), D: オットセイ(鳥取市伏野海岸, 2009年4月2日), E: アカウミガメ(境港市 境港内, 2009年11月13日), F: アオウミガメ(兵庫県美方郡新温泉町釜屋沖 定置網混獲, 2009年8月25日).

年9月16日に北栄町教育委員会職員が確認したところ、卵の1個は破れて、殻となっていた。残りの1個は表面が乾燥していた。これらの卵の殻については、ふ化したものなのか、あるいは捕食者に食べられたなど他の原因なのか、特定はできなかったが、9月16日に確認された卵殻については破れた状態などから、ふ化した殻ではない可能性のほうが高いと思われた。

これまで鳥取県におけるアカウミガメの産卵・ふ化は、確実な記録として、1960年から2004年の間に5回記録されている(清末1987; 川上ほか2004, 2006)。

また2006年8月8日には、鳥取市気高町八束水の海岸でアカウミガメと思われる稚ガメが泳いでいるのが確認されている(川上ほか2008)。隣の島根県でも2004年にアカウミガメの上陸・産卵・ふ化が観察されている(川上ほか2006)。このように稀ではあるが、鳥取県の海岸でアカウミガメが産卵した記録はある。しかしながら、すべて偶発的な発見によるものであり、鳥取県をはじめとする日本海側のアカウミガメの繁殖についてはほとんど分かっていない。今後、鳥取県における本種の産卵調査が行われることが望まれる。

表 1. 鳥取県沿岸および近隣域に漂着した海洋動物と確認された稀種（2008年～2009年）

種類	個体数	場所	サイズ・性別	発見日	備考
マイルカ類 (クジラ目マイルカ科)	1	【漂着】西伯郡日吉津村大字今吉	全長：2～3 m (目測)	2009年4月25日	図 1-A 一部骨が裸出
	1	【漂着】岩美郡岩美町網代	全長：約 90 cm	2008年1月23日	
	1	【漂着】東伯郡湯梨浜町園	全長：約 200 cm	2008年3月	
テングイハタ <i>Trachipterus trachipterus</i> (アカマンボウ目 フリソデウオ科)	1	【漂着】東伯郡琴浦町 逢東海岸	全長：144 cm	2009年2月4日	図 1-B
	1	【漂着】米子市皆生 皆生海岸	全長：107 cm	2009年6月28日	
	1	【漂着】鳥取市白兎 白兎海岸	全長：約 100 cm	2009年7月上旬	
	1	【漂着】東伯郡湯梨浜町橋津 橋津港	全長：約 80 cm	2009年7月11日	港内で釣り上げ
	1	【漂着】岩美郡岩美町 城原海岸	全長：80 cm	2009年7月14日	
リュウグウノツカイ <i>Regalecus glesne</i> (アカマンボウ目 リュウグウノツカイ科)	1	【漂着】岩美郡岩美町 東浜海岸	全長：約 300 cm	2008年3月16日	オキアミ類を吐いていた。(冷凍保管中)
	1	【漂着】境港市潮見町 通称「白灯台」付近	全長：109 cm 体重：770 g	2009年7月29日	釣り人(チヌ釣り)の釣り針がエラに引っかかり、引き上げられた。(冷凍保管中)
オットセイ <i>Callorhinus ursinus</i> (ネコ目アシカ科)	1	【漂着】鳥取市伏野 伏野海岸	頭胴長：122.5 cm 頭幅：13.0 cm 前鰭長(後縁)：34.0 cm 後鰭：41.0 cm 性別：♀	2009年4月2日	図 1-D 剥製標本として保管(登録番号：TRPM-AMa-0000022)
	3	【確認】東伯郡北栄町西園(砂浜)	直径：約 4 cm 弱	2008年9月3日	図 2-A, B 3個の内、1個はすでに破れて殻だった。残り2個は深さ20cm程度に埋められた。9月16日に確認したところ、破れた卵が1個あった。残った最後の1個は表面が乾燥していたが、埋めたままにされた。
アカウミガメの卵 <i>Caretta caretta</i> (カメ目ウミガメ科)	1	【漂着】境港市 境港内	直甲長：79.5 cm 直甲幅：63.5 cm 全長：115.5 cm 性別：♂	2009年11月13日	図 1-E 11月12日に港内を泳いでいたが、13日朝に死亡を確認。本種の背部肋甲板は通常5対だが、本個体は4対。
アカウミガメ? <i>Caretta caretta</i> (カメ目ウミガメ科)	1	【漂着】岩美郡岩美町 陸上海岸	不明	2008年11月29日	胴部のみで、ほぼ白骨化。骨の一部に5mmぐらいのエボシガイが付着。
アオウミガメ <i>Chelonia mydas mydas</i> (カメ目ウミガメ科)	1	【混獲】兵庫県美方郡新温泉町釜屋沖(水深35m, 定置網)	直甲長：78.5 cm 直甲幅：61.0 cm	2009年8月25日	図 1-F 定置網に混獲。すでに死亡。
	1	【漂着】東伯郡琴浦町八橋 洗川河口付近	直甲長：約 80 cm (目測) 直甲幅：約 60 cm (目測)	2009年9月28日	住民の話では8月13日ごろからあった。大部分が白骨化。



図 2. 鳥取県東伯郡北栄町西園の砂浜で確認されたアカウミガメの産卵。A: 卵 (2008年9月3日), B: 卵と卵殻 (2008年9月16日)。

■謝 辞

アカウミガメの産卵については、鳥取県北栄町教育委員会生涯学習課の池田武氏から詳細な情報提供をいただいた。日本ウミガメ協議会の岡本慶氏には、ウミガメ類の同定などでお世話になった。また次の方々にはさまざまな方法で調査への協力をいただいた：川端豊氏（境港市生涯学習課），松尾達志氏（鳥取県日吉津村役場），三好和宏氏，井中修司氏（以上，鳥取県琴浦町役場），増田紳哉氏・中谷英明氏・氏良介氏・下山俊一氏・宮邊伸氏・石原幸雄氏（以上，鳥取県水産振興局），宇野政美氏（兵庫県），和田年史氏をはじめとする鳥取県立博物館の職員の皆さま。以上の方々に深く感謝の意を表す。最後に，快く海洋動物の情報および標本の提供をしていただいた皆さまに，とくに厚くお礼申し上げます。

■引用文献

- 川上 靖 (2002) 鳥取県沿岸に多数漂着したヤリマンボウ属 (予報) とその他の漂着動物 (2000 年 4 月～2002 年 3 月). *鳥取県立博物館研究報告* 39: 37-42.
- 川上 靖・平尾和幸・清末幸久 (2004) 鳥取県沿岸における漂着動物の記録 (2002 年 4 月～2003 年 12 月). *鳥取県立博物館研究報告* 41: 1-8.
- 川上 靖・一澤 圭・安藤重敏 (2008) 鳥取県沿岸に漂着した大型動物および漁獲された稀な動物の記録 (2006 年～2007 年). *鳥取県立博物館研究報告* 45: 17-22.
- 川上 靖・清末幸久・一澤 圭・平尾和幸・安藤重敏 (2006) 鳥取県沿岸における漂着動物 (2004 年 1 月～2005 年 12 月) とアカウミガメに付着していた暖海性紅藻類トゲキヌイトグサ *Antithamnion tanakae*. *鳥取県立博物館研究報告* 43: 1-5.
- 清末忠人 (1987) 鳥取県沿岸の漂着動物について (1). *鳥取生物* 21: 15-20.
- 田中 稔 (1964) [資料紹介] オットセイ♀ *Callorhinus ursinus* (Linnaeus). *郷土と科学* 19: 32.